

子牛パワーアップ プログラム スケジュール

分娩日から3ヵ月齢までのスケジュールを“見える化”。「初乳対策」「寄生虫対策」「環境対策」の各プログラム内容を、1ページにまとめました。ぜひ、ご活用ください。

プログラム内容	分娩日	1ヵ月齢	2ヵ月齢	3ヵ月齢
初乳対策	① 初乳の給与 ・ ヘッドスタート(225g/袋)	初乳給与 子牛の哺乳欲を確認した後、できるだけ分娩後6時間以内に給与 初乳の量や質に不安がある場合は、 ヘッドスタート を使用。初乳を代替、もしくは初乳にプラスし、グロブリンやエネルギーなど多くの栄養素を補給する。		カビ・カビ毒対策 免疫サポート (オムニゲンAFプレミアム [10g/体重100kgあたり])
		内部寄生虫による増体低減の改善、良好な増体を確保 (バイメックトピカル)		
寄生虫対策	② 内部寄生虫の駆除 ・ バイメックトピカル ③ 外部寄生虫の駆除 ・ バイチコール ④ コクシジウムの予防 ・ 牛用バイコックス(要指示)	シラミ、カイセン、マダニなどによる皮膚病やストレスを軽減		
		獣医師と相談し、最適なコクシジウム対策を実施 栄養吸収を担う腸管を健康に保つ		
環境対策	⑤ 環境の洗浄・消毒 ・ バイオソルブ[洗浄剤] ・ アンテックピルゴNS[消毒剤] ⑥ 衛生害虫の対策 ・ ノックベイト[イエバエ対策] ・ バイオフライ[イエバエ対策] ・ バイバック[ハエウジ対策]	カーフハッチ・牛舎ならびに使用器具類の定期的な消毒、踏込み槽の設置		
		牛舎やハッチ周辺のイエバエ発生対策 発生源対策(IGR剤:バイバック) 成虫対策(ベイト剤:ノックベイト、散布剤:バイオフライ)		

母牛の寄生虫対策

分娩直前の環境対策

生まれてくる子牛のために…
分娩30日前からの対策も大切です。

内部寄生虫の駆除
 牛肺虫、毛様線虫、クーベリアなどの内部寄生虫駆除をおこない、寄生虫による生産性低下を防ぎ、子牛への感染予防に努めましょう。

外部寄生虫の駆除
 シラミ、カイセン、マダニなどの外部寄生虫駆除をおこない、寄生虫による皮膚病の予防やストレス軽減に努めましょう。

分娩舎の洗浄・消毒
 子牛は無菌状態で産まれます。従って分娩舎は常に清掃・除菌・消毒を行い、母牛を導入します。踏込み槽も設置し、病原体の侵入を少しでも阻止することも重要です。

衛生害虫の対策
 分娩前から定期的に牛舎やハッチ周辺を清掃・洗浄し、ハエ発生源を除去しましょう。成虫対策も忘れずに。